

講義名	専門基礎演習(人)			授業形態	
担当教員	西尾 範博	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

1年生での基礎的な学修を受けて、2年生前期では大学の専門的な学修に向けての基礎を築くための演習を行います。
この専門基礎演習は、心理社会学科教員が担当します。心理学関連領域や社会学関連領域のなかで具体的なテーマを設定し、それについて調べ（文献を読み、情報を集める）、議論をし、発表し、レポートを作成する方法を学びます。これらの方法は、大学における専門的な学修を進めるうえで必要なものです。従って、必ず履修していただきたい科目となります。
演習で扱うテーマは演習担当者によって違いますが、どの演習クラスに所属しても「テーマについて調べ、議論し、発表し、レポートを作成する」力を身につける点で共通しています。
演習の内容は、授業計画を参考にしてください。また、内容の詳細については、初回授業時に担当者から説明がありますので、よく理解したうえで受講をしてください。

到達目標

- ・自演習のテーマにもとづいて、グループワーク、ディスカッションなどの協働作業を行うことができる。
- ・文献調査、情報収集、調査、レポート作成、発表（プレゼンテーション）などの学習方法を身に付けることができる。
- ・自らの志望に応じて、研究演習1の選択を適切に行うことができる。
- ・自己の将来について考えることができる。

提出課題

毎回、レスポンスによる「本日の授業課題」の提出を求める。授業に出席しても、課題提出がない場合は欠席とみなす。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業で提示する「本日の授業課題」の成果をも1人に学生一人ひとりの実態に即した指導をし、到達目標の達成を目指す。

評価の基準

授業中に示す課題やグループワーク、ディスカッションに主体的かつ積極的に取り組むこと（50％）、毎回の授業の最後に示す課題の出来栄（50％）をもって評価する。

履修にあたっての注意・助言他

演習や発表、ディスカッションの連続となるこの期間では、学生の主体的かつ積極的な取り組みが不可欠。「一人ひとりがキーパーソン」「何事も練習、音で練習、音で成長」「やるときはやる!」の3つを合言葉として常に頭におき、学生と教員が協働して毎日が知的好奇心や探究心のある時間にしていきたい。担当教員のこの思いに応え、主体的かつ積極的に取り組むことを期待しています。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業計画

- 第1回（4月14日）授業概要の説明
予習：シラバスを事前に読み、この授業のイメージを具体的にしておく（60分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（180分）
- 第2回（4月21日）プレゼンテーション演習
予習：事前に提示された課題について資料を作成し、発表の準備を整えておく（120分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（120分）
- 第3回（4月28日）研究演習選択に関するディスカッション
予習：心理社会学科の研究演習について事前に調べ、大まかに理解しておく（90分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（150分）
- 第4回（5月12日）心理社会学科研究演習合同ガイダンス1
予習：心理社会学科教員の担当している研究演習の説明（シラバスや大学ip）を見て不明な点について書き留めておき、ガイダンス時に質問できるようにしておく（120分）
復習：ガイダンスを聞き、興味を持った演習の内容について調べる（120分）
- 第5回（5月19日）心理社会学科研究演習合同ガイダンス2
予習：心理社会学科教員の担当している研究演習の説明（シラバスや大学ip）を見て不明な点について書き留めておき、ガイダンス時に質問できるようにしておく（120分）
復習：ガイダンスを聞き、興味を持った演習の内容について調べる（120分）
- 第6回（5月26日）研究演習申込書作成の要領
予習：第4回、第5回の内容をもとに興味のある研究演習を1つまたは2つに絞っておく（90分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（150分）
- 第7回（6月2日）研究演習申込書の作成
予習：興味関心のある研究演習を1つに絞っておく（60分）
復習：授業内容を振り返り、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（180分）
- 第8回（6月9日）コミュニケーションゲーム1（基礎編）
予習：事前に提示された課題について事前に調べ、大まかに理解しておく（90分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（150分）
- 第9回（6月16日）研究論文1の分析と考察
予習：事前に配布された研究論文1をよく読み、大まかに理解しておく（90分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（150分）
- 第10回（6月23日）研究論文2の分析と考察
予習：事前に配布された研究論文2をよく読み、大まかに理解しておく（90分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（150分）
- 第11回（6月30日）コミュニケーションゲーム2（発展編）
予習：事前に提示された課題について事前に調べ、大まかに理解しておく（90分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（150分）
- 第12回（7月7日）研究論文3の分析と考察
予習：事前に配布された研究論文3をよく読み、大まかに理解しておく（90分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（150分）
- 第13回（7月14日）研究論文4の分析と考察
予習：事前に配布された研究論文4をよく読み、大まかに理解しておく（90分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（150分）
- 第14回（7月21日）キャリアデザイン演習
予習：事前に配布された資料をよく読み、提示された課題をすませておく（90分）
復習：授業内容を振り返るとともに、授業中に提示された「本日の授業課題」に取り組み、学びを深める（150分）
- 第15回（7月24日）プレゼンテーション演習

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。社会の問題や人びとの考え方を捉えることができ、社会貢献・提学連携、インターンシップなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身に付け、より良い社会を実現するための新しい考え、文化を創出することができる。人間の精神機能と心理学の研究法に関する基礎的知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。コミュニケーション能力と、消費者と援助を求めるときの人の心理と行動の知識を有し、ビジネス場面で援助現場で心理学を応用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この授業は演習や発表、ディスカッションの連続となるので、「静かに講義を聞き、ノートをとる」時間はほぼない。常に、教員の問いかけに応じて、考え、発言しながら進められるので、学生の主体的かつ積極的な受講態度が不可欠。そして、学生と教員が協働して毎日が知的好奇心や探究心のある時間にしてほしい。また、レスポンスを活用して学生の考えを共有する機会をつくって学生の力を捉え、授業の充実度を高める機会も提供したい。

実務経験の有無及び活用

備考

毎回の授業が充実したものにするには、遅刻や欠席を回避することはもちろん、授業中の主体的かつ積極的な態度や毎回の授業について予習、復習の励行を求めます。